

2026 年 8 月 14 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
三 菱 U F J e ス マ ー ト 証 券 株 式 会 社

**「こども NISA」の口座開設受付を開始
～2027 年 1 月の創設に先行して 10 月より開始～**

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 MUFG）は、連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 大澤 正和^{おおさわ まさかず}、以下 三菱 UFJ 銀行）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博^{くぼた ひろし}、以下三菱 UFJ 信託銀行）、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 関 浩之^{せき ひろゆき}、以下 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券）、三菱 UFJ e スマート証券株式会社（代表取締役社長 飛松 一樹^{とびまつ かずき}、以下 三菱 UFJ e スマート証券）において、「こども NISA」^[1]の取り扱いをいたします。

MUFG では、中期経営計画における「成長をつかむ」ための主要戦略の一つとして「資産運用立国実現への貢献」に取り組んでいます。NISA（少額投資非課税制度）の利用状況およびこども NISA への期待感を受け、2027 年の制度開始に先立ち、2026 年 10 月より、こども NISA の口座開設手続きの受付を開始するとともに、MUFG グループ各社が連携し、お客さまへのサービス提供体制を整備します。

こども NISA の口座開設手続きの受付方法や取扱商品の詳細については、確定次第、各社ホームページ等にてお知らせいたします。

MUFG では、金融サービスブランド「エムット^[2]」のもと、お客さま一人ひとりのライフプランに寄り添った資産形成支援に取り組んでいます。この一環として、これまで取り扱ってきた NISA に加え、新たにこども NISA の取り扱いも開始いたします。さらに、ご家族で末永くご利用いただける関係を目指し、サービスの拡充や利便性の向上に努めてまいります。

具体的な取り組みとして、親子で銀行口座、NISA 等をご利用いただくことでおトクになるキャンペーンやこども NISA の制度を学べる機会の提供を予定しております。こちらも詳細が確定次第、各社ホームページ等にてお知らせいたします。

MUFG は今後も、資産運用立国の実現に貢献するとともに、お客さまのライフステージ、投資方針に応じた資産形成サービスの充実を通じて、「お客さまのチカラになる」取り組みを推進してまいります。

■こども NISA（制度概要）

NISA は、家計の安定的な資産形成を促進することを目的として 2014 年に開始された、投資で得た利益が非課税となる税制優遇制度です。制度開始以降、2016 年にはジュニア NISA、2018 年にはつみたて NISA が導入され、2024 年 1 月には制度が抜本的に拡充された新しい NISA がスタートしました。金融庁によると、2025 年 12 月末時点の NISA 口座数は約 2,820 万口座^[3]に達しており、家計の資産形成を支える制度として広く利用されています。

こうした中、政府は「資産運用立国」の実現に向けた取り組みの一環として、次世代の資産形成をさらに促進するため、2027 年 1 月から、こども NISA を新たに創設する予定です。

こども NISA は、未成年者が長期・積立・分散投資を通じて成人後のライフイベントに備えた資産形成を行うことを目的とした、未成年者向けの少額投資非課税制度です。本制度では、未成年のお子さまを対象に、年間 60 万円まで、非課税保有限度額 600 万円までの投資ができる予定となっています。

また、こども NISA で保有する資産は、原則として 18 歳到達前の払出しが制限されます。ただし、12 歳以降は例外として、教育費等、一定の事由に限り払出しが認められる予定です。なお、18 歳到達後は、一定の条件の下で成人向け NISA へ非課税保有限度額を引き継ぐ仕組みが設けられる予定です。投資対象については、長期・積立・分散投資に適した商品を中心とする方向で制度設計が進められており^[4]、新たな資産形成の選択肢として、こども NISA への期待が高まっています。

[1] 令和 8 年度税制改正の大綱において、正確には「非課税口座の未成年者特定累積投資勘定」と記載されています。詳細は、以下の財務省 令和 8 年度税制改正の大綱（目次）のページをご参照ください。

https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2026/08taikou_mokuji.htm

[2] 「エムット」は MUFG 各社の多様なサービスを統合し、“人生にかかわるお金のすべてを「まるっと」サポートする”金融サービスブランドです。「エムット」では「三菱 UFJ 銀行アプリ」（インターネットバンキングアプリ）を中心にクレジットカードやスマホ決済などのお金を「つかう」機能、ポイントなどが「たまる」機能、資産運用などのお金を「ふやす」機能、相続などのお金を「つなぐ」機能をシームレスに繋ぎ、各種サービスにワンストップでアクセス可能にすることでユーザーがお金の管理をわかりやすく簡単にできる、シンプルかつ直感的なサービスを提供します。

[3] NISA 口座数は、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/survey/index.html>

[4] 制度の詳細については今後、公表される予定です。

以 上